

ナブテスコ株式会社

2022年12月期第3四半期 決算説明会資料

2022年10月31日
取締役 常務執行役員
波部 敦

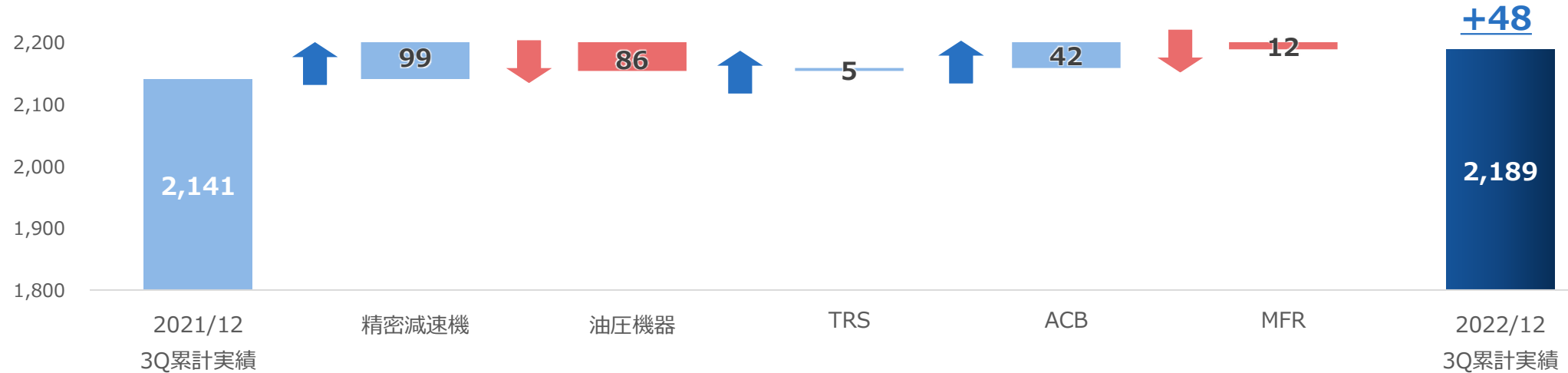
1. 2022年12月期 第3四半期累計実績

1.1 2022年12月期 第3四半期 累計実績サマリー（前年同期比）

売上高

■ 建設機械向け油圧機器において中国市場の需要が低迷したものの、精密減速機において産業用ロボット向けの高い需要が継続。加えて為替影響もあり増収となった。

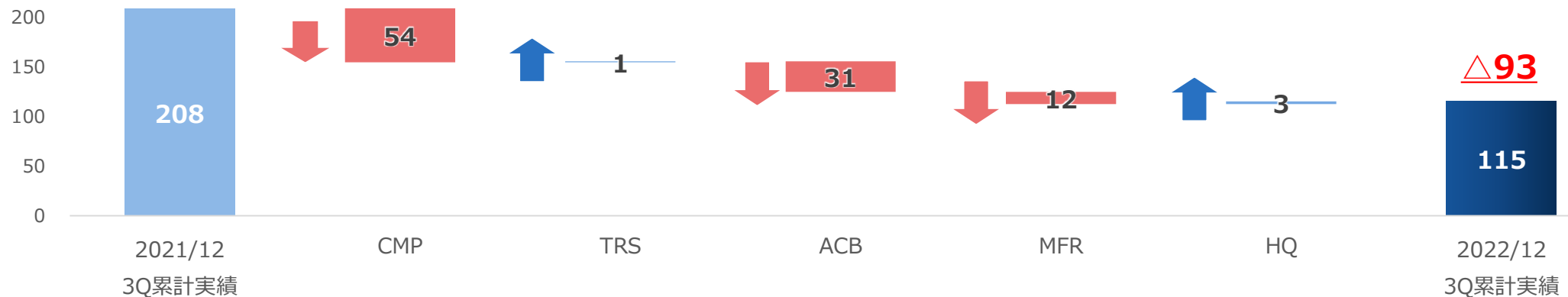
億円



営業利益

■ 油圧機器での需要減少による減益に加え、CMPやACBにおいて原材料費、派遣外注費、物流費等が高騰した影響により減益となった。

億円

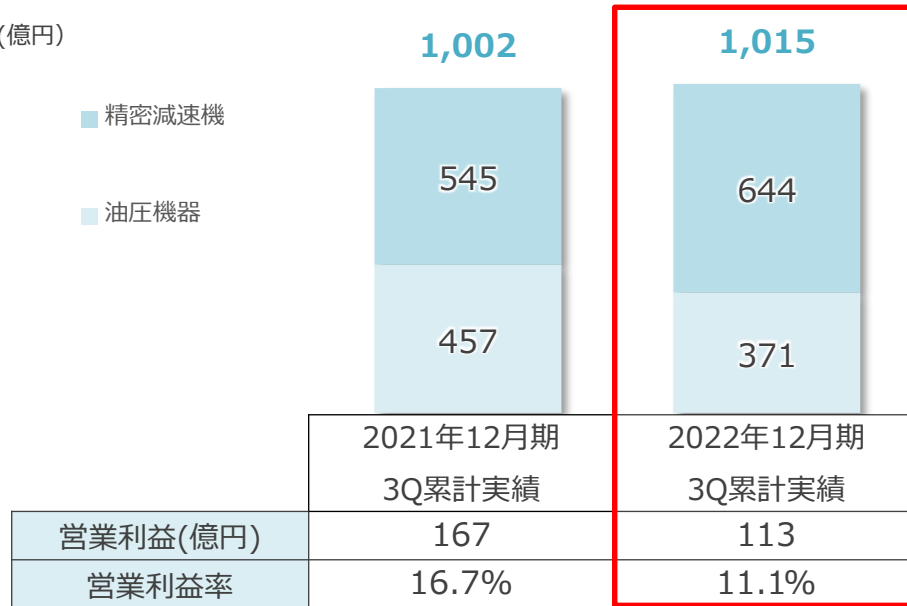


CMP: Component Solution Segment TRS: Transport Solution Segment ACB: Accessibility Solution Segment MFR: Manufacturing Solution Segment HQ:本社費

コンポーネントソリューションセグメント (CMP)

売上高(億円)

■ 精密減速機
■ 油圧機器



・精密減速機事業：

精密減速機は、産業用ロボット向けで高い需要が継続したことに加え、半導体製造装置向けやEV製造設備関連でも高い需要があったことから、売上高は前年同期比で増加

・油圧機器事業：

建設機械向け油圧機器は、中国市場の需要が想定を下回ったことに加え、第2四半期において上海市のロックダウンにより中国子会社の操業が一時停止したことにより、売上高は前年同期比で減少

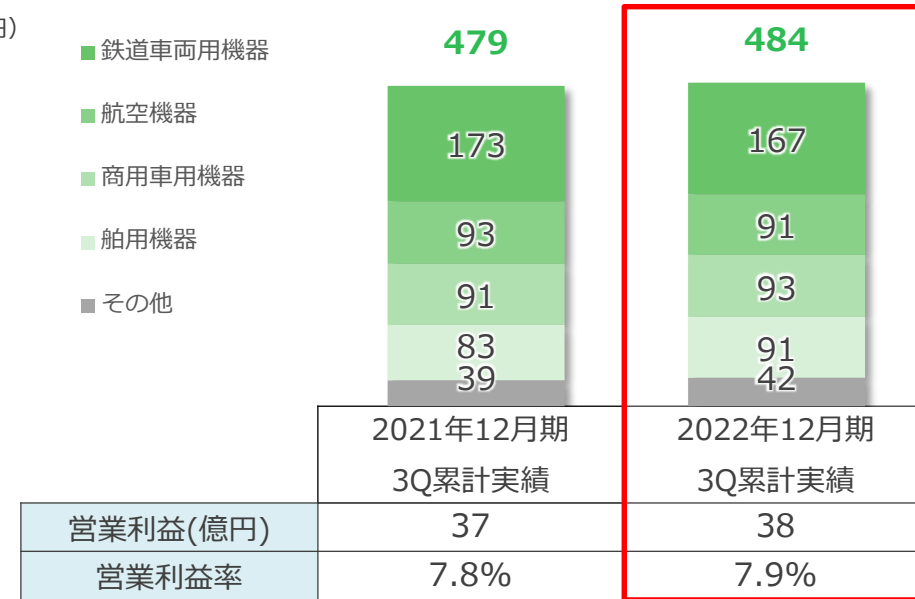
・営業利益：

油圧機器における売上減少による減益に加え、精密減速機においても原材料費、派遣外注費、物流費等の高騰により前年同期比で減益

トランスポートソリューションセグメント (TRS)

売上高(億円)

■ 鉄道車両用機器
■ 航空機器
■ 商用車用機器
■ 舶用機器
■ その他



・鉄道車両用機器事業：

鉄道車両用機器は、MRO (Maintenance, Repair, Overhaul) は堅調に推移したものの、国内及び海外市場において新車向け需要が低迷し、売上高は前年同期比で微減

・航空機器事業：

航空機器は、防衛省向けでの調達品納入遅延等の影響があったものの、民間航空機向けで需要が緩やかに回復し、売上高は前年同期並み

・商用車用機器事業：

商用車用機器は、顧客の生産調整による減産の影響を受けたものの、東南アジア市場の回復により、売上高は前年同期並み

・舶用機器事業：

舶用機器は、造船・海運市場が好調に推移したことにより、売上高は前年同期比で増加

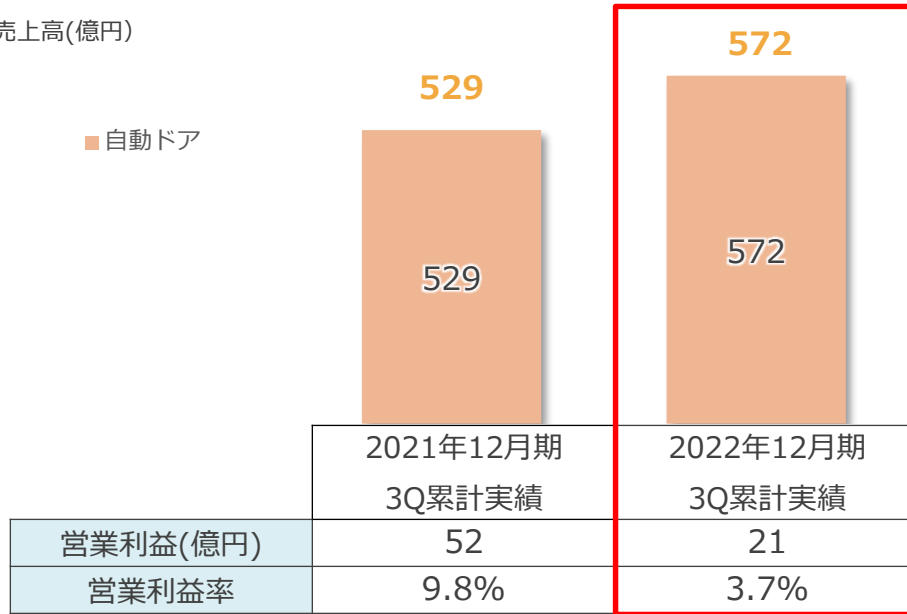
・営業利益：

前年同期並みを確保

アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)

売上高(億円)

■ 自動ドア



・自動ドア事業：

自動ドア事業は、国内・海外ともに堅調に推移したことに加え、円安効果もあり、売上高は前年同期比で増加

・営業利益：

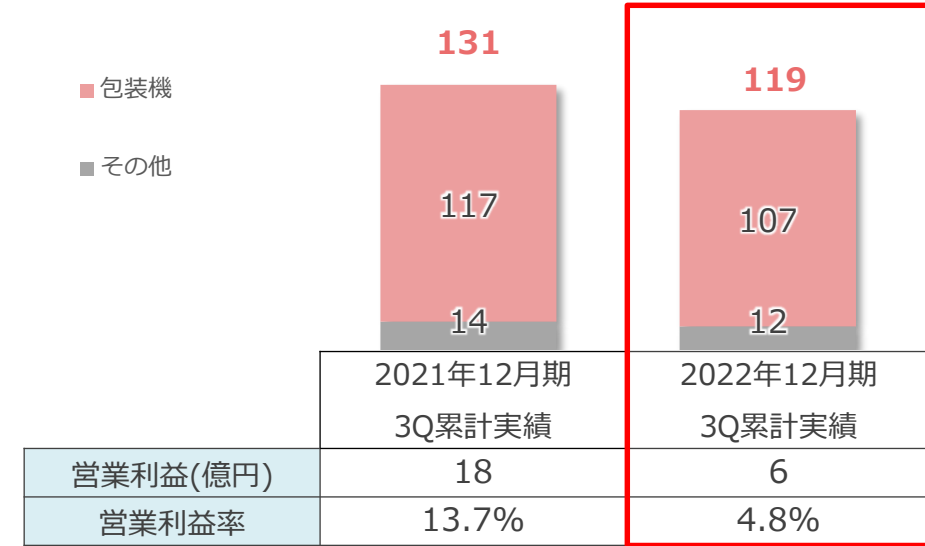
【国内】 電子部品不足によりMRO案件の対応の遅れが発生し、前年同期比で減益
 【海外】 コロナによる移動制限や労働者不足による外注費の増加や、プラットフォームドア案件の工期延期による想定外のコスト増加の影響を受け前年同期比で減益

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

売上高(億円)

■ 包装機

■ その他



・包装機事業：

包装機は、製品売上・MROともに電子部品等の調達品遅れが継続したことにより、売上高は前年同期比で減少

・営業利益：

電子部品不足による生産遅延により売上が減少し、前年同期比で減益

■ 金融損益の減少はHDS*¹株式の時価評価に伴う利益の減少による（21/4Q末:4,860円/株→22/3Q末:4,485円/株）

(単位：億円)

	2021/12 3Q累計実績(A)	2022/12 3Q累計実績(B)	前年比増減 (B-A)
売上高	2,141	2,189	48
営業利益	208	115	-93
(営業利益率)	9.7%	5.2%	-4.5pt
金融損益	794	32	-762
(うちHDS* ¹ 評価)	(806)	(14)	792
持分法による投資利益	15	22	7
税引前利益	1,017	169	-849
当期利益* ²	631	106	-525
基本的一株当たり当期利益(円)	518.7円	88.5円	-430.2円
HDS株式評価損益の前提株価(円)	5,400円/株	4,485円/株	-

*¹ HDS:株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ社 *² 当期利益:親会社の所有者に帰属する当期利益

- 「現預金等」「その他の金融資産」「売却目的で保有する資産」「その他の金融負債」「未払法人税」の減少はHDS*株式の半数売却完了によるもの

(単位：億円)	2021/12期末 2021年12月31日	2022/12 3Q末 2022年9月30日	差異
資産	4,817	4,145	-672
（現預金等）	1,128	784	-343
（営業債権）	750	658	-91
（棚卸資産）	419	548	129
（流動資産のその他の金融資産）	78	18	-60
（売却目的で保有する資産）	445	0	-445
（有形固定資産）	890	967	77
（非流動資産のその他の金融資産）	539	503	-36
負債	2,267	1,479	-789
（流動負債のその他金融負債）	779	1	-778
（未払法人税）	198	14	-184
資本	2,550	2,667	117
親会社所有者帰属持分	2,399	2,520	120

親会社所有者帰属持分比率： 49.8% 60.8%

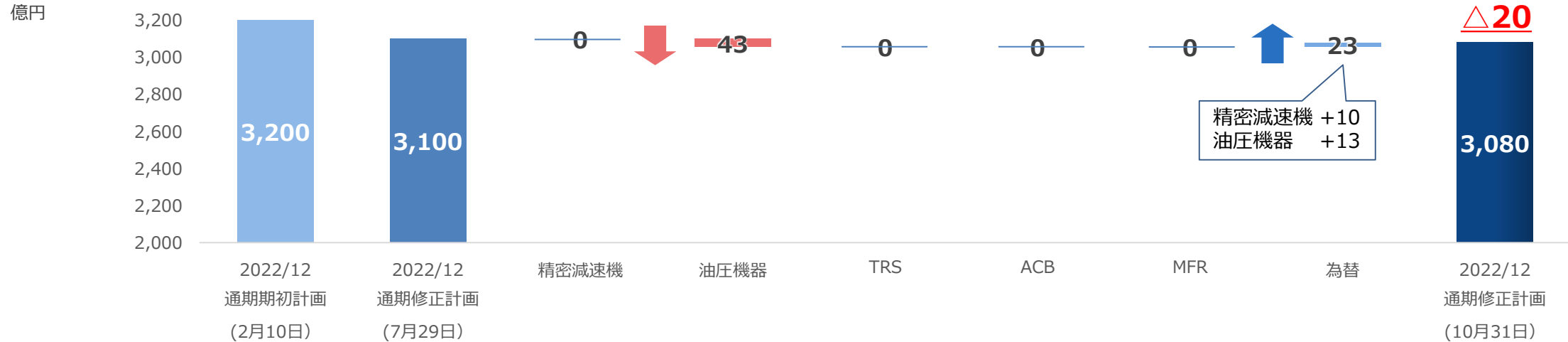
*HDS:株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ社

2. 2022年12月期 通期見通し

2.1 2022年12月期通期 連結業績見通し セグメント別（計画比） *Innovation In Action* Vision 2030

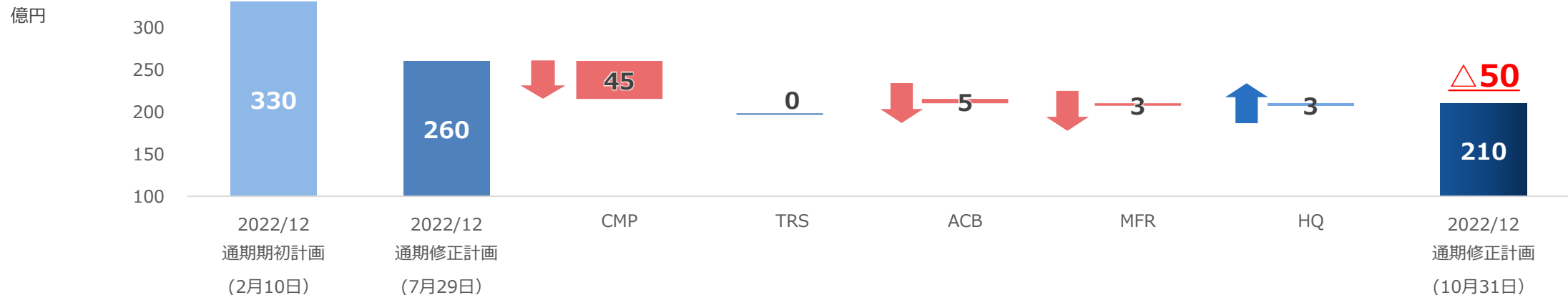
売上高

■ 油圧機器での売上減少はあるものの円安効果もあり、全社での通期売上高計画は微減の見通し



営業利益

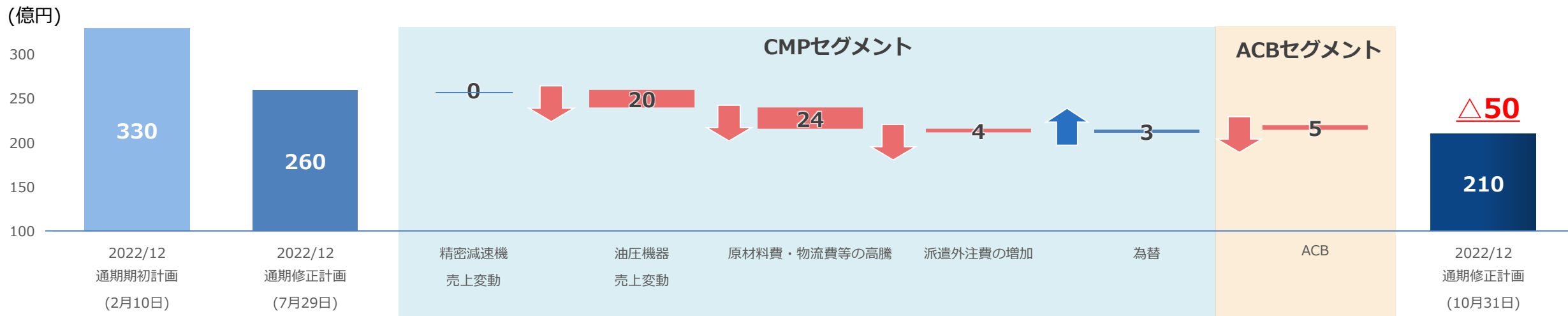
■ 油圧機器の需要減少による減益に加え、コスト増加影響を受け全社での通期営業利益計画を修正



CMP: Component Solution Segment TRS: Transport Solution Segment ACB: Accessibility Solution Segment MFR: Manufacturing Solution Segment HQ:本社費

営業利益

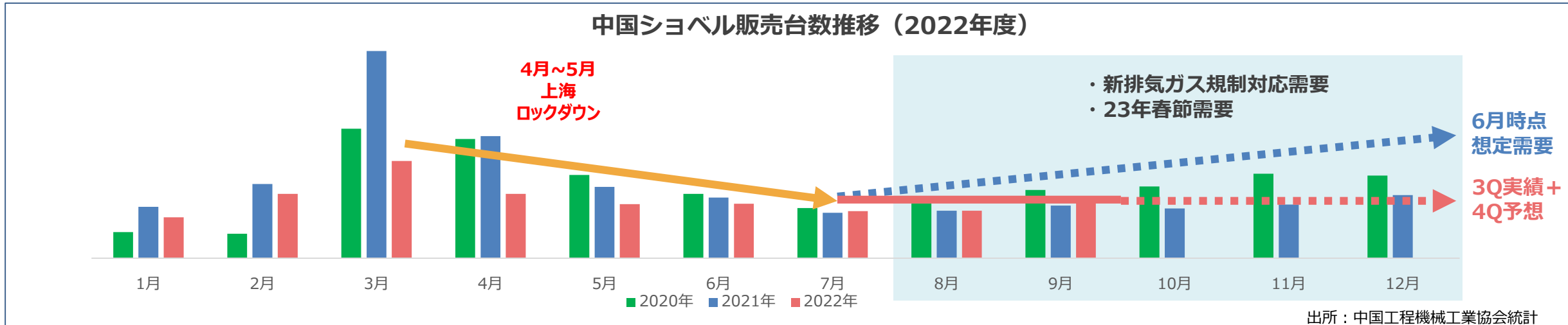
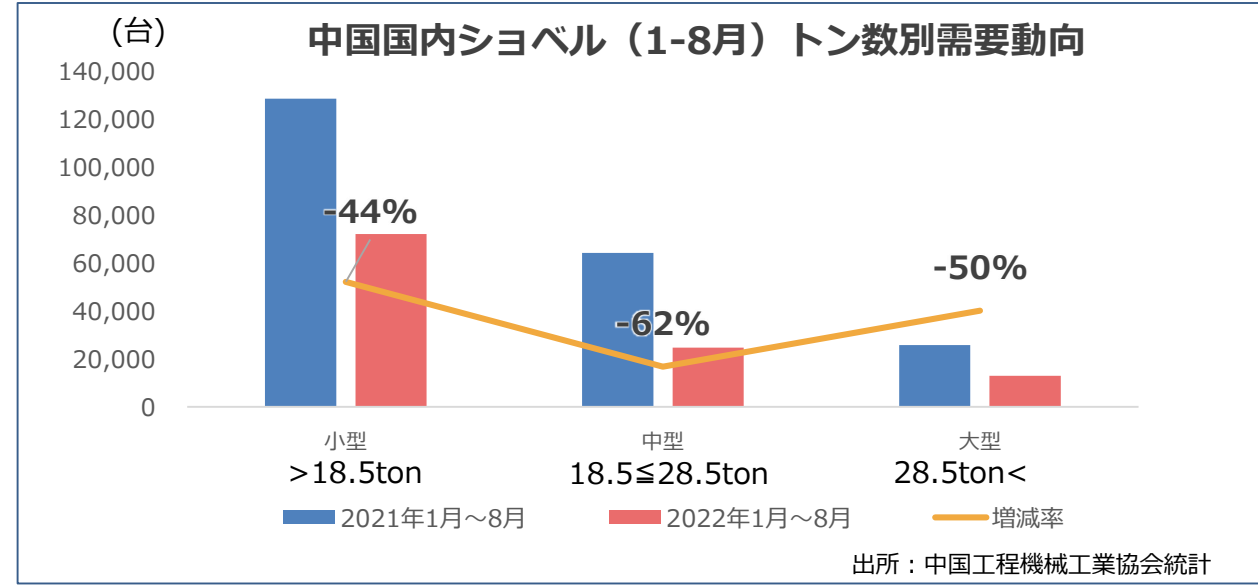
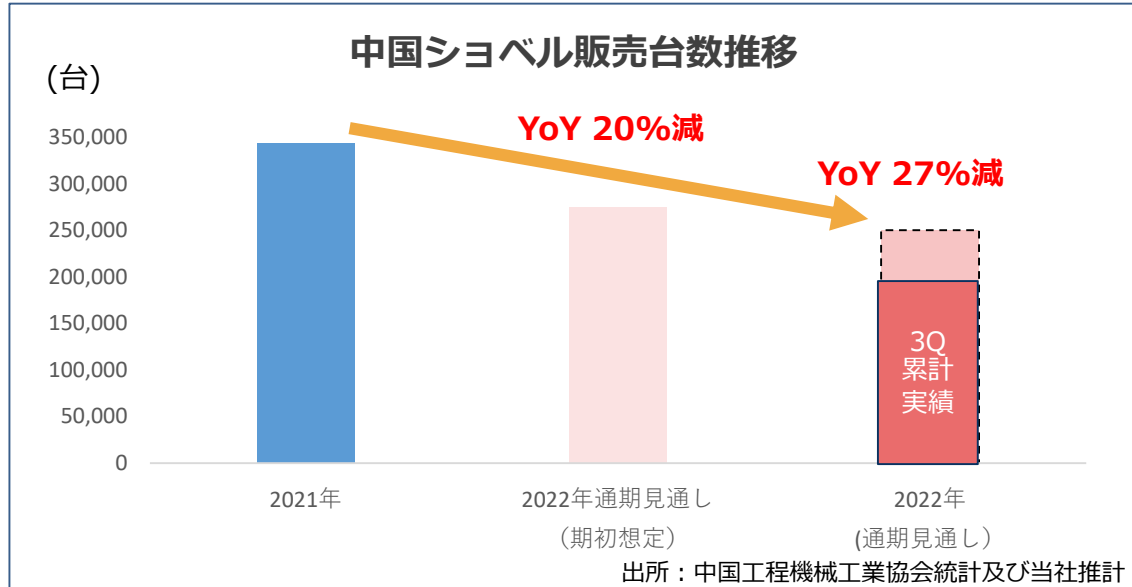
■ 油圧機器での需要減少による減益に加え、CMPでの原材料費・物流費、派遣外注費高騰等の影響により全社での通期営業利益計画は減益を見込む



		収益低下の要因	受注残高 21/3Q vs. 22/3Q	今後の対応
CMP	精密減速機	顧客の増産要求に応えるため、国内工場でのコロナ再流行（7-8月）に伴う減産リカバリーに向け一時的な増員対応費用の増加 サプライチェーンを守るため原材料費、加工外注費の更なる値上げを許容	+47%	原材料費、外注費高騰は販売価格へ転嫁（主な効果発現は来期からとなる見込み） 原価低減活動による成果の刈り取り
	油圧機器	想定を下回る中国市場の需要減少と回復の遅れ	-17%	欧州、北米、アジアでの拡販活動強化
ACB	自動ドア	コントローラー等の電子部品不足によるMRO進捗遅れ プラットホームドア案件の工期延期による想定外のコスト増加	+19%	代替サプライヤー開拓による電子部品確保でMRO拡販 コスト増加分の費用を回収する見込み

■ 中国油圧ショベル市場は想定を下回る需要減少。

12月施行の新排気ガス規制や春節需要に向けた需要増加の動きも顕在化していない。



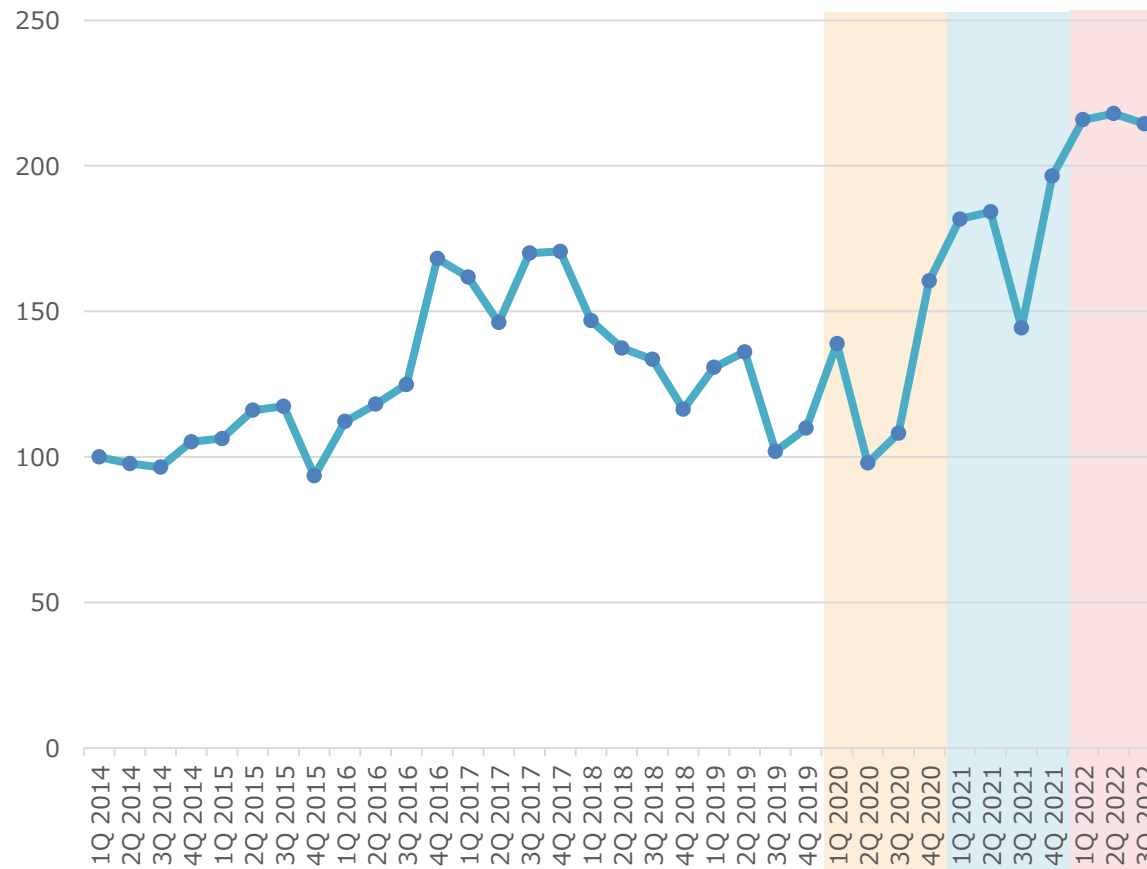
3. Topics

3.1 精密減速機 ～連結受注推移・生産能力推移～

2022/3Q 精密減速機 連結受注

-YoY +49%

-ロボットメーカーでは能力以上の需要と調達不足により、受注に生産が追いつかない状態が継続

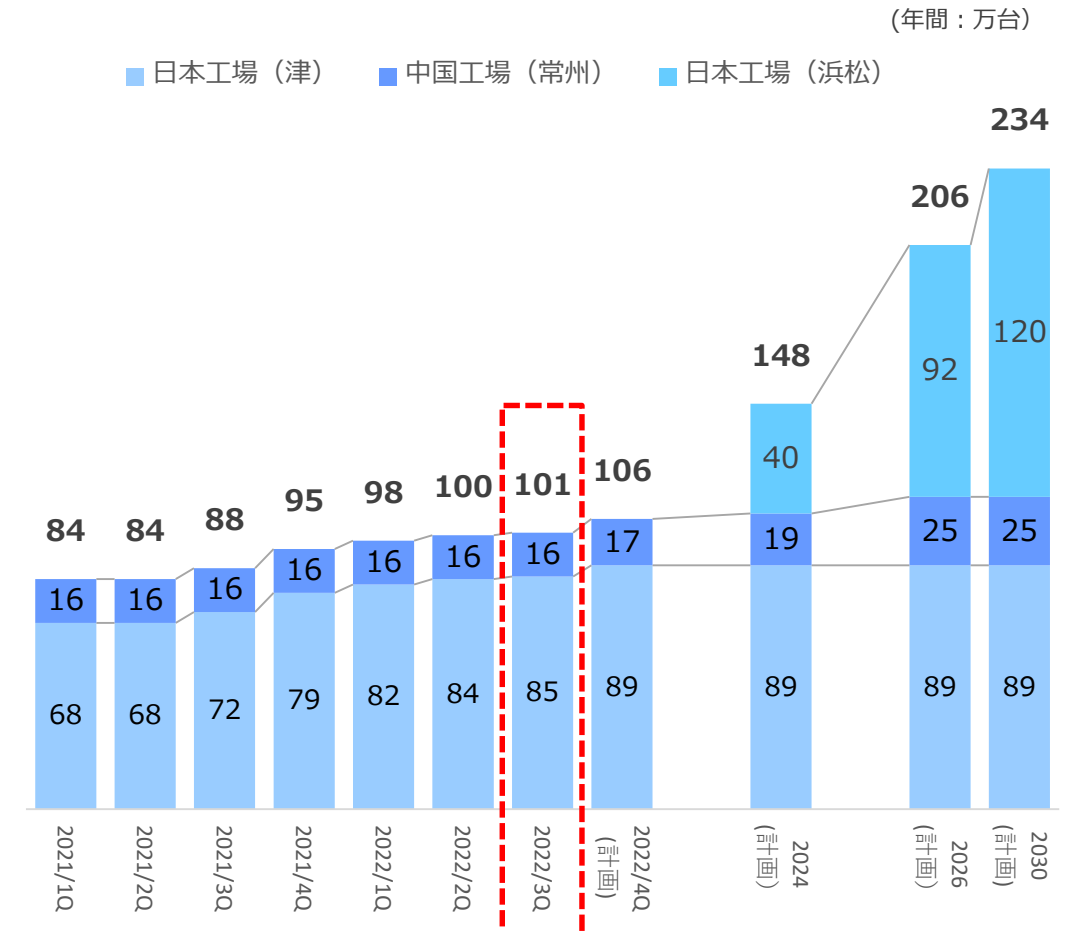


2014年1Q=100とした時の連結受注水準

2022/3Q 精密減速機 定時生産能力

-2022/3Q グローバルでの定時生産能力は年産101万台

-2022/4Q 年産106万台まで能力増強し生産量を確保



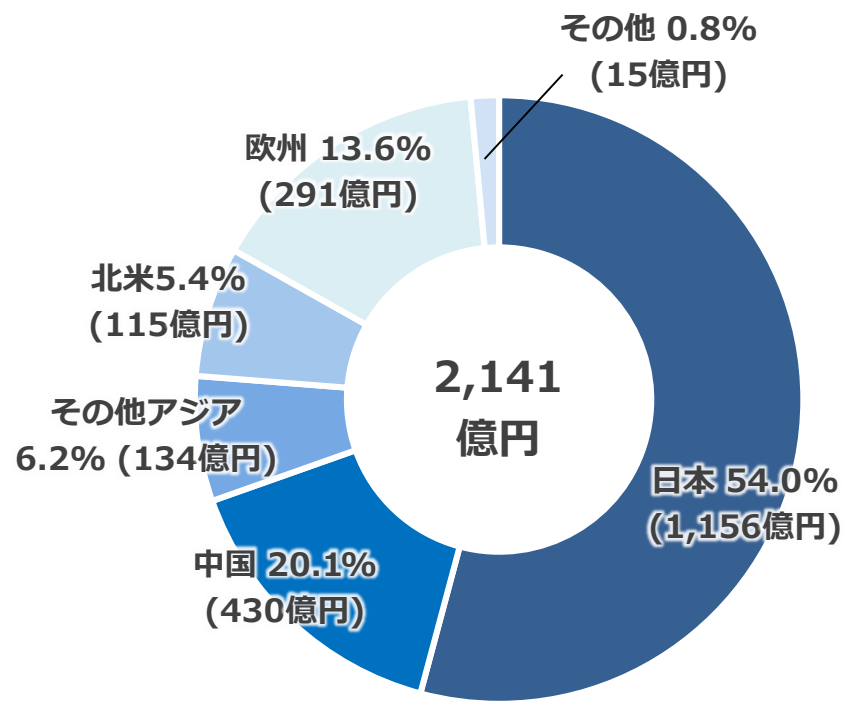
事業部門	トピックス	内容
精密減速機	浜松工場の起工式を実施 (9月23日) 中期経営計画で対処すべき課題 環境負荷の低減とデジタル技術を活用した スマートなものづくりを実現	精密減速機の高い需要に対応するため、「ものづくりイノベーションとSDGs高評価を有する世界No.1のスマート工場」をコンセプトに、精密減速機の生産工場として3拠点目となる新工場を設立。自動化率を90%以上を目指し、供給数の多い機種を集めた少品種大量生産で高効率なものづくりを実現する。 【工場概要】 ◆ 生産能力 : 定時生産能力 年産120万台 (2030年時点) ◆ 竣工時期 : 2023年9月 ◆ 稼働開始時期 : 2023年10月 ◆ 投資額 : 約470億円 (2022年~2026年)  浜松工場の完成予想イメージ
油圧機器	欧州販売会社を設立 (8月18日) 中期経営計画で対処すべき課題 強靱なグローバルバリューネットワークの構築	欧州建機メーカーの新規顧客開拓、日系建機メーカーの欧州進出会社へのサービス対応を行い、欧州地域での販売拡大および顧客との関係強化を図る 【新会社概要】 ◆ 商号 : Nabtesco Power Control Europe GmbH ◆ 所在地 : ドイツ連邦共和国 (デュッセルドルフ) ◆ 設立年月日 : 2022年8月18日 ◆ 事業開始日 : 2022年11月予定 

事業部	トピックス	内容
福祉機器	「ハイヒール・プロジェクト」に協賛 (9月5日) 中期経営計画で対処すべき課題 「未来の“欲しい”」を実現する 製品・サービスで新しい価値を創造	福祉機器事業で展開する義肢装具を義足のアーティスト 片山真理氏に提供し、同氏の「ハイヒール・プロジェクト」を支援するに協賛契約を締結。当社から電子制御義足膝継手『ALLUX2』を片山氏に提供、片山氏からはユーザー視点でのフィードバックと両者協働で広報活動を展開する。 「事業を通じた社会課題解決への取り組み」として、様々な人が「自分らしく」社会参加できるノーマライゼーションの実現を目指す。 協賛契約の調印式にて 専務執行役員 住環境 カンパニー 社長 箱田大典とアーティスト 片山真理氏  電子制御義足膝継手「ALLUX2」 
全社	社内アイデア事業化制度 「Light」 (10月1日) 中期経営計画で対処すべき課題 「未来の“欲しい”」を実現する 製品・サービスで新しい価値を創造 全役員・従業員の“変える”意欲を高め、 “挑戦”を楽しむ価値観の醸成	長期ビジョン「イノベーションリーダー」の実現に向け、社員からの事業アイデア公募制度を設立、新規事業の創出を目指す。 複数の選考やワークショップを経てベンチャーユニットを立ち上げ事業化につなげる。チャレンジする社員には、伴走型の支援とともに評価やインセンティブとの紐づけを行い、制度の活性化を図る。 

Appendix

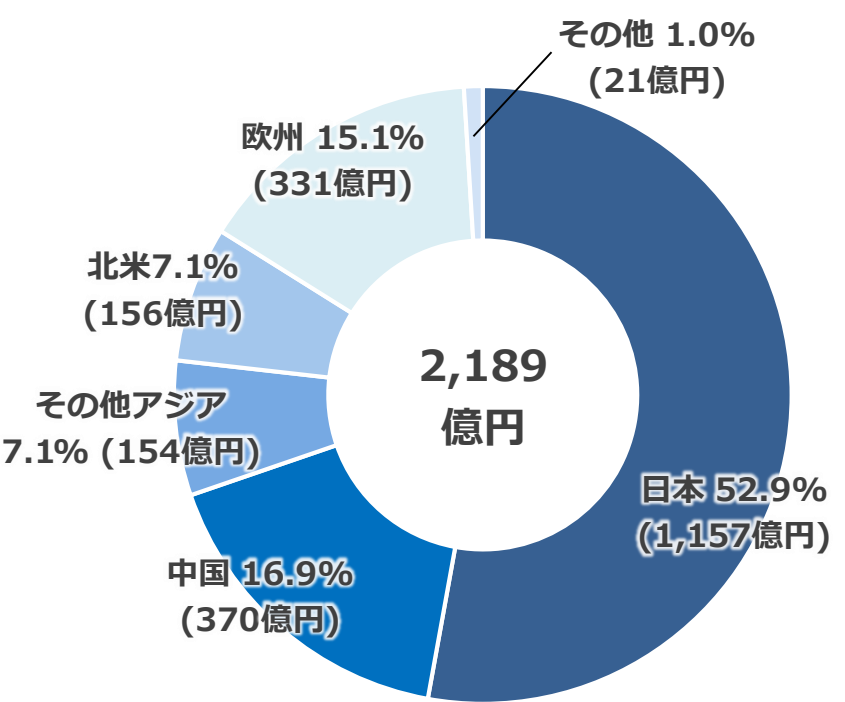
(単位：億円)	2021/12 3Q累計実績 (A)	2022/12 3Q累計実績 (B)	2022/12 修正計画 10月31日 (C)	対前年 同期比 (B-A)	進捗率 (B/C)	2021/12 通期実績
設備投資額	67	152	293	86	52%	96
研究開発費	71	82	123	10	67%	96
減価償却費	98	107	145	9	----	133

2021/12 3Q実績



海外売上高	985億円
海外売上高比率	46.0%

2022/12 3Q実績



海外売上高	1,032億円
海外売上高比率	47.1%

■ 為替レート

	2021/12 3Q実績	2021/12 通期実績	2022/12 3Q実績	2022/12 通期平均レート
USD	¥109.11	¥110.37	¥129.46	¥125.03
RMB	¥16.86	¥17.12	¥19.45	¥19.06
EUR	¥130.27	¥130.34	¥136.62	¥133.94
CHF	¥119.41	¥120.71	¥135.89	¥131.20

■ 為替感応度（為替が1円変動したときの影響額）

	2021/12 3Q実績		2021/12 通期実績		2022/12 3Q実績		2022/12 通期計画	
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
(百万円)								
USD	74	31	100	45	103	26	178	30
RMB	1,571	646	2,056	790	1,579	384	2,726	686
EUR	40	軽微	62	軽微	47	軽微	72	軽微
CHF	133	軽微	196	軽微	146	軽微	216	軽微

(単位：億円)

	2021/12 通期実績(A)	2022/12 修正計画(B) (10月31日)	前年比増減 (B-A)
売上高	2,998	3,080	82
営業利益	300	210	-90
(営業利益率)	10.0%	6.8%	-3.2pt
金融損益	699	68	-631
(うちHDS ^{*1} 評価)	707	49	-658
持分法による投資利益	21	28	7
税引前利益	1,020	306	-714
当期利益 ^{*2}	648	205	-443
基本的一株当たり当期利益(円)	534.7円	170.8円	-363.9
HDS株式評価損益の前提株価(円)	4,860円/株	4,860円/株	-
ROIC	8.1%	5.4%	-2.7pt

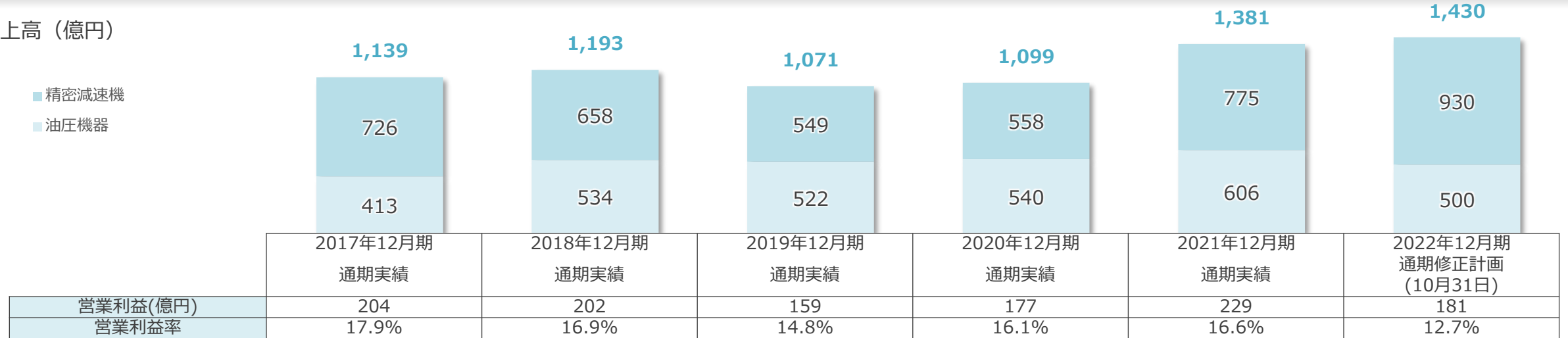
*1 HDS:株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ社 *2 当期利益:親会社の所有者に帰属する当期利益

事業別売上推移・事業紹介

コンポーネントソリューションセグメント (CMP)

売上高 (億円)

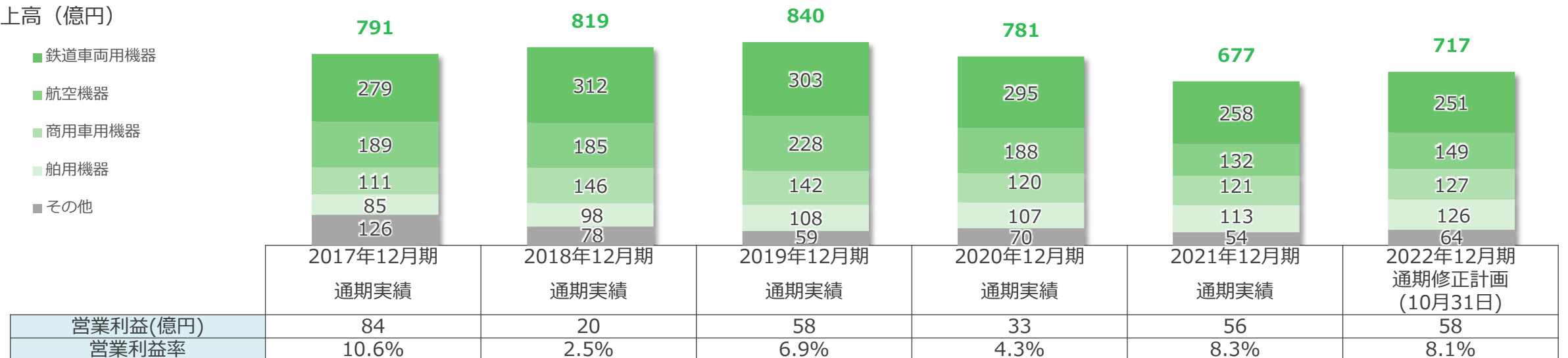
- 精密減速機
- 油圧機器



トランスポートソリューションセグメント (TRS)

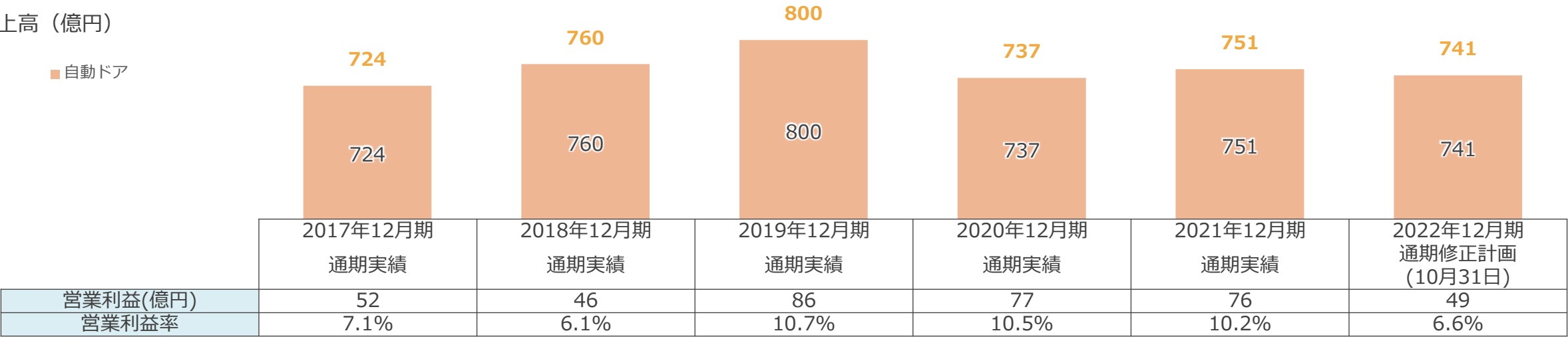
売上高 (億円)

- 鉄道車両用機器
- 航空機器
- 商用車用機器
- 船用機器
- その他



売上高 (億円)

■ 自動ドア

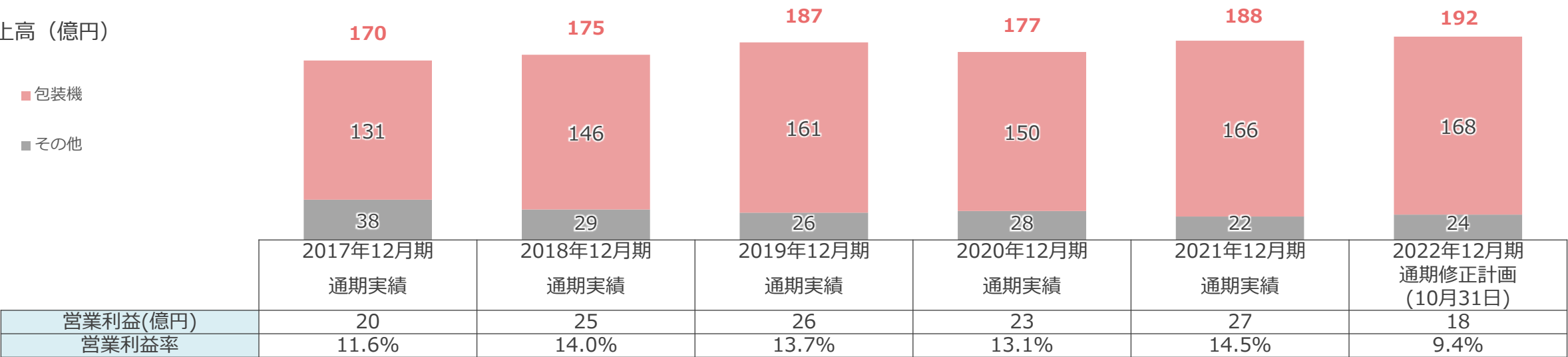


マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

売上高 (億円)

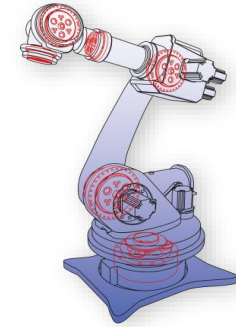
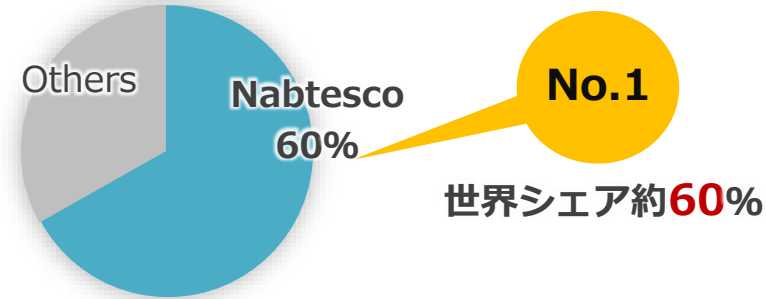
■ 包装機

■ その他



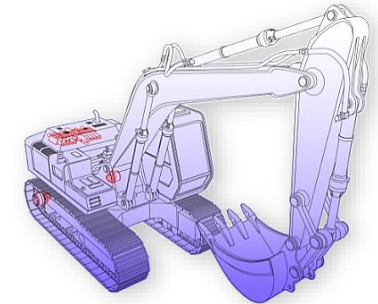
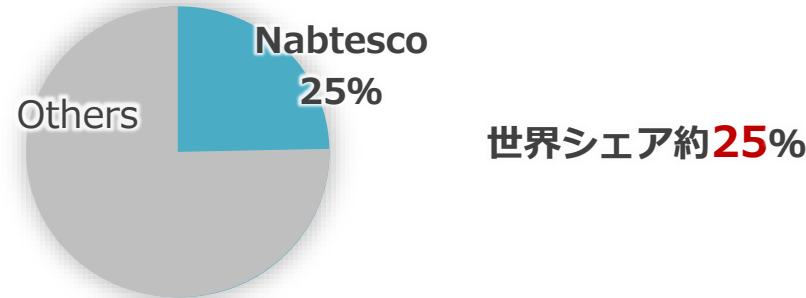
精密減速機

■ 中大型産業用ロボットの関節用途



油圧機器

■ 油圧ショベル用走行ユニット



主要顧客 (敬称略)

■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■ 油圧機器

走行ユニット：コマツ、住友建機、コベルコ建機、Sany (中)、XCMG (中)、Liu Gong (中)

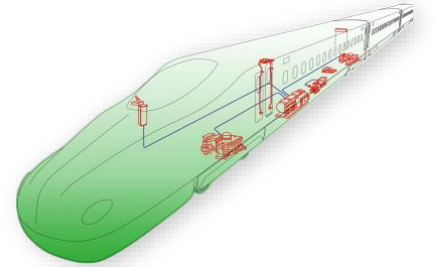
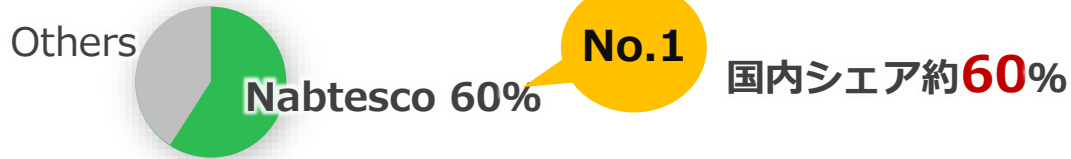
注：シェアは当社推計

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム



■ 鉄道車両用ドア開閉装置



航空機器

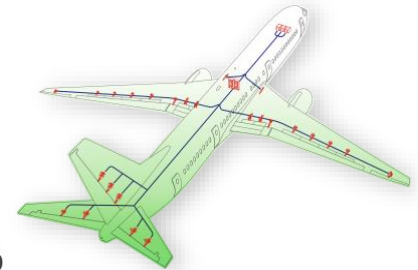
■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

- FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- エンジン補機、電源システム等へも事業展開



No.1

FCAの国産機
シェア約**100%**



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

商用車用機器

■ 商用車用ウェッジチャンバー

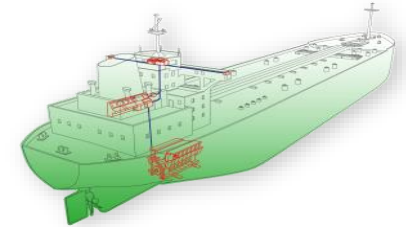


■ 商用車用エアドライヤー



船用機器

■ 船用エンジン遠隔制御システム



主要顧客 (敬称略)

■ 商用車用機器

日野自動車、いすゞ自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

■ 船用機器

川崎重工業、(株)日立造船、マキタ、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、三井E&Sマシナリー、
Hyundai Heavy Industries (韓)、HSD Engine Co., Ltd.(韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、MAN Diesel (デンマーク)

自動ドア

■自動ドア開閉装置



■プラットホームスクリーンドア



主要顧客 (敬称略)

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関

プラットホームドア：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

包装機

■レトルト食品用充填包装機



主要顧客 (敬称略)

■包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。

Nabtesco

